



稲作コンソーシアムのご案内

水田のメタンガス削減に取り組み、J-クレジット制度に参画してみませんか？

水稲栽培において、
中干し期間を7日間（※）以上延長することでカーボンクレジットを創出することができます。
（※）直近2か年以上の平均実施日数より7日間以上延長する

□ J-クレジット制度とは

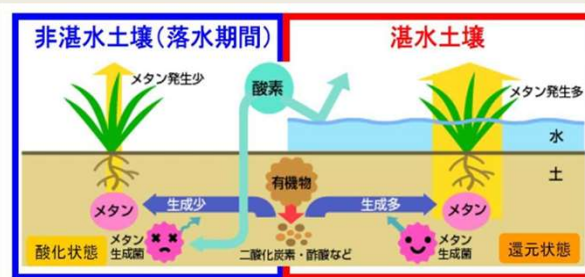
J-クレジット制度とは、省エネの導入や再エネの利用、農林業による取り組み等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして認証する制度で、経済産業省、環境省、農林水産省が運営している国が認証する制度です。

□ 稲作コンソーシアムとは

J-クレジットの登録・申請には数百万円の費用と手続き者類策の手間がかかるため、参加者を募りまとめて申請、登録する「稲作コンソーシアム」が2023年4月に発足されました。

□ メタンガスの発生要因

湛水（水を満たした状態）土壌の場合、メタン生成菌からメタンガスが発生するため、落水期間（中干し期間）を設けることでメタンガスの発生を抑制できる。



（図の出自：つくばサチャーギャラリー）

コンソーシアム参加メリット



登録費用・クレジット申請
登録手続きが不要

水田と管理者の基礎情報をご提供いただければ、コンソーシアムがクレジット申請登録手続きを代理で実施。**コンソーシアム登録費用も無料**



クレジット創出による
副収入取得

クレジットの売買益を**副収入として獲得**することができる



Agreen（アグリーン）を活用しクレジット
創出における質の向上と工数削減

農業データのDX化や衛星データを活用し、**モニタリングの簡易化**を目指す



環境配慮米として
ブランディング化

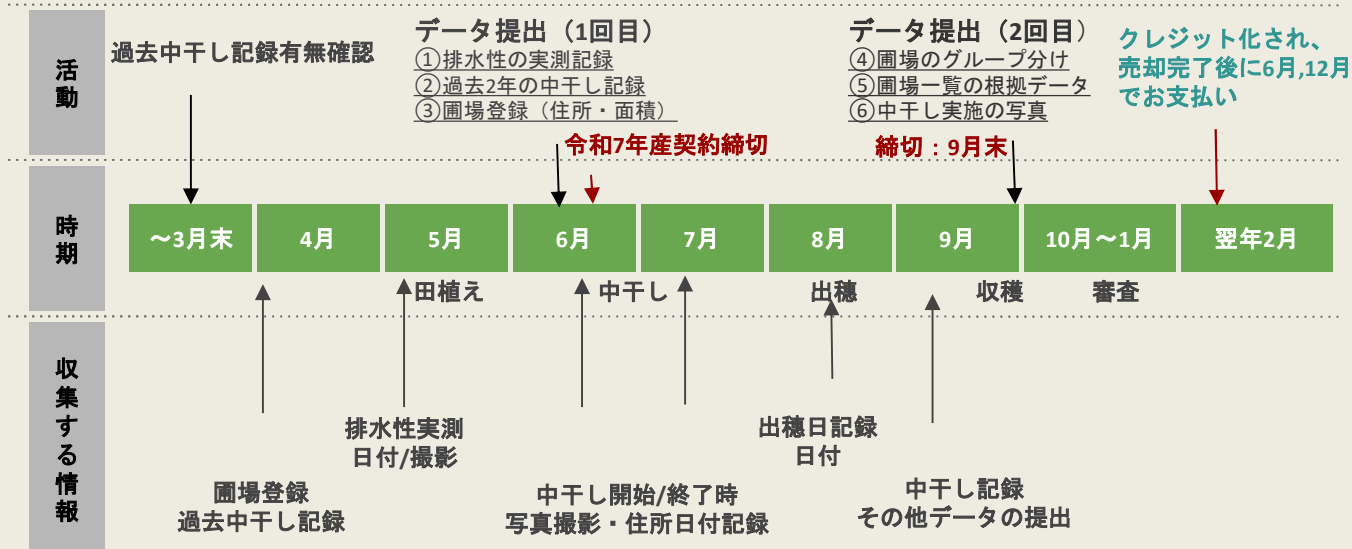
環境に配慮したお米として**ブランド価値を付与**して新規販路の拡大やPRが可能に

- 1 圃場の住所・面積
- 2 過去2年の中干し記録
(作業日誌・営農支援サービス・生産管理記録等)
- 3 排水性の実測のための日減水深の写真
- 4 過去の中干し期間ごとの圃場のグループ分け
- 5 圃場の住所・面積の根拠となる書類
(営農計画書・水稻共催細目書等)
- 6 今年度の中干し実施写真
(取水口・排水口・全体の様子を開始時と終了時に)

スケジュールイメージ

下記情報の提出で申請可能です

1. 直近2年間の中干しの記録
2. 田植え前の日減水深測定 (生産者あたり代表1圃場)
※測定できなくても申請可能
3. 中干し期間の延長時の撮影 (グループ毎代表1圃場) + 出穂/収穫日
4. 営農計画書



お申し込みは、Web、お申し込み書のどちらでも対応が可能ですので、お申し込み書が必要な場合は担当まで。



Web申し込みはコチラから

